

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2014年度 第3回 理事会

日 時：2014年 3月 26日（水）19：00～21：44

場 所：コンセーレ 大ホールB

出席者：

- ( 理 事 長 ) : 村上(敬称省略 以下同)  
( 直 前 理 事 長 ) : 福田(治)  
( 顧 問 ) : 山本  
( 副 理 事 長 ) : 朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、須山  
( 専 務 理 事 ) : 中島(崇)  
( 監 事 ) : 黒川、飯野、澤畑  
( 担 当 常 任 理 事 ) : 林、金  
( 全国大会招致会議議長 ) : 羽石  
( 会 員 拡 大 会 議 議 長 ) : 太城  
( 協働連携特別会議議長 ) : 篠崎(達)  
( 法令会計審査会議議長 ) : 廣田  
( 事 務 局 長 ) : 橋本  
( 委 員 長 ) : 飯沼、新妻、豊崎、中島(晴)、相馬  
( 副 議 長 ) : 宮林、渡邊、八木、高松、山田、福田(弘)  
( 理 事 ) : 金田、塚原(代理)、横島、梅田、岡田、増淵(代理)

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
2. JCIクリード唱和 <宮林>
3. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和 <相馬>
4. JC宣言朗読並びに綱領唱和 <新妻>
5. 関東地区宣言唱和 <飯沼>
6. 出席者の確認 <橋本>  
出席理事名 29 / 33名
7. 議事録作成人並びに議事録署名人の指名  
議事録：<総務委員会>  
議事録署名人：村 上 正 高  
黒 川 崇  
飯野 貴道  
澤畑 敦史
8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>
10. 理事長挨拶 <村上>

本日もまずは第3回理事会が定刻どおり開催されますことをお礼申し上げます。そして本日も総務委員会が理事会設営していただきましてありがとうございます。今日の午後事務局にいったのですが総務委員会の飯塚副委員長が本日の理事会の資料の差し替えの資料を作成してくれていました。平日の午後とゆう貴重な時間をさいて資料作成していただいているとゆうことで、各議長、委員長はそのことを踏まえて修正も含め議案をしっかりとつくっていただきたいと思います。

さて、3月はJCとしてもかなり濃い1ヶ月であったと思います。振り返るにあたりまして時系列で追って話をさせていただきたいと思います。まずは復創造フォーラムが被災地であります福島にて開催されました。宇都宮JCからも多数のLOMメンバーに出席いただきましたが、未来への大きな学びのある事業であったのではないかと思います。これは本当に参加したメンバーは感じられたと思いますが、原発事故での避難区域での空気がとまってしまった。時間がとまってしまった感じは現地にいかなければ感じられないものだと思います。以前は戦前戦後世代などといわれましたが、3月11日のあとは震災以前、震災後世代と呼ばれるようになると思います。そのなかでも20代から30代の我々はまさに責任世代でありますので、しっかり一人ひとりがその自覚をもって行動していただきたいと思います。

そして拡大の公開委員会の開催を今月もまたしていただきました。ちょうどその3年前の地震の際に理事長をつとめられました徳原先輩を講師でお呼びしたわけでありましてけれども、もちろん講演の内容、そして講演後の懇親会も、徳原先輩のいろいろな当時のお話を聞くことができましたし、なにより多くのビジターの人とも親睦をもつことができたということが良かったのではないかと思います。まだまだ拡大の公開委員会も開催していただけると聞いておりますので是非理事会構成メンバーの皆様は各委員会のメンバーにも声をかけてですね、この公開委員会にも是非参加していただきたいなというふうに思います。

そして私が講師をつとめさせていただきましたけれども議案作成セミナーの開催をさせていただきました。出席をしていただいたメンバーには本当にありがたいなというふうに思った訳であります。対象者であった議長、委員長のみならず多くのスタッフのメンバー、それから委員会のメンバーが参加をしていただきました。伝えたかったことというのはJCの運動論というところでありました。理事会メンバーのメーリングにはその時のパワーポイントの資料を配信させていただいておりますけれども、わからないところなどありましたら、是非ですね、その場所をみつけて直接聞いていただきたいなと思います。

そして3月例会ですね、全国大会招致セミナー。本当に小瀧副理事長、羽石議長をはじめとします会議体の皆様本当にありがとうございました。今回全国各地より3人の講師をお招きしまして開催をさせていただきました。本当に一人ひとり、全国大会に対する思い、そしてJCに対する思い、そして未来をつくっていく市民としての思いというのを非常に力強い言葉で一人ひとり語っていただいたということで、わたしも改めて全国大会に向けてしっかりと歩みを進めていかなければならないというふうに思った訳であります。本当に短かっただよと感じた訳でございますけれども、その後の懇親会でもいろんなたくさんのお話をさせていただいた訳であります。是非見習っていただきたいのは、講師として招いた3名の方々は、もちろん理事長もされていますし、日本JCの役員、古川くんに関しましては現職の日本JCの顧問でいらっしゃる。その講師自らがメンバー一人ひとりの所に歩いて行って話しかけてくれた。そのことに関しましては、すごくありがたいなというふうに思いました。ビジターと入会間もないメンバーに、経験者のほうから声をかけてきてくれるという行為を今回肌で感じた訳であります。こちらからいきにくくても来てくれたときの嬉しさというものもありますので、その行為に対してすごくありがたいなと思った訳であります。一流という言い方は語弊があるかもしれませんが、本当にザ・JCマンという御三方でありますので、是非皆さんもこれから後輩やビジターにはそういった対応をしていただきたいというふうに思います。

そして一昨日になりますけれども、赤松委員長が日本JCに出向しておりますけれども、相互理解のプログラムを宇都宮で開催していただきました。宇都宮JCの先輩でありますと

か現役のメンバーと宇都宮大学の留学生それから宇都宮市在住のアメリカ人の方々と相互理解を図るプログラムということでご体験いただいた訳でございます。相互理解というこのプログラムには、外務省が実は4千万程の補助金をいただきまして日本J Cがつくったプログラムなのです。もとはといえばこのプログラムというのは外交で抑止力としてミサイルをもつ国が多いわけですが、武力武装して攻めて来られないようにするという発想とは日本は違ひまして、このプログラムをつくることで平和に導くというか、国を守ろうということなのです。プログラムをつかって国内外で開催することによって日本人のファンを増やそうという狙いが実はこれにはあります。1発のミサイルを作るよりもこのプログラムにお金をかけて世界に発信して日本人のファンを増やして国を守ろうというアプローチですけれども、もちろん皆さんの近所の方、仲のいい近所さんですとか親友の家に石を投げたりしない訳ですね、間違いなく。単純に言えばそうゆうことなのです。これが今、日本J Cが世界で進めているプログラムであります。きっと日本人の精神性、そして他を重んじる相互理解の心というのがこれからの世界での世界平和のキーワードになっていくところを私自身も確信しておりますし、今回はもちろんメンバーの皆さんに体験をしていただいた訳ですけれども、今後多分世界で注目されていくようなアプローチに間違いなくなっていくと思いますので、是非受けたことのないメンバーも今度のハワイでの事業でもやりますので、是非体験をしていっていただきたいと思ひますし、これは外国人のみならず日本人である我われ自身、たとえば僕とあなたとの関係を構築する上でも相互理解っていうのは非常に大切でありますので、是非ご参考にしていただきたいと思ひます。

そして本日ですね、少し拡大についてお話をしようと思ひます。今日議案にもあがってきておりますが、今月5名が入会をする方向になってきております。徐々にペースがあがってきているのかなとは思ひますのですけれども、この理事会にいるメンバーの皆様はJ Cが多分好きだと思ひます。J Cで学んで自分自身が成長しているということを実感できていると思ひます。理事会のメンバーはJ Cに入っていないなかったら今の自分はどうだったのかと、是非考へて欲しいと思ひます。仲の良い友人に僕はJ Cに是非入って欲しいと思ひますし、良い仲間もできますし、自分の成長につながることでありますから、何よりも我われ自身で街の未来を変えていける運動というのは非常に素晴らしいと自信をもって思ひますので、是非とも一人ひとりの理事会構成メンバーがリードして委員会のメンバーにも是非この話を伝えていただいて、一人でも多くの市民をこの仲間にして運動を広げていっていただきたいというふうに思ひます。今年拡大会議のほうも非常にいま公開委員会、事業、委員会を活発にさせていただいておりますので、ビジターが参加できる機会はたくさんあると思ひます。また他の委員会にもオブザーブしたいということであれば中島専務理事と相談していただければいいのかなと思ひますので、本当に一人でも多くのメンバー、ビジターを連れてきていただきたいというふうに思ひます。

そしていよいよ来週ハワイへいくわけでありまして。家族を含めると37名の方が宇都宮からハワイの姉妹J CでありますホノルルチャイニーズJ Cに久しぶりに公式の交流事業ということで行くわけでありまして。木村委員長をはじめとする地域交流委員会の皆様、本当に苦勞してここまで事業の準備をしてきていらっしゃるところでございます。J C運動発信委員会の方にもお願いしておりますが、残念ながら日本にいないなければならない、ハワイにいけないメンバーに対してもしつかりどういったことができるか、事業内容を皆様のほうにお伝えをしていきたいというふうに思ひますので、是非いくメンバーは現地でしつかりと楽しんでいただきたいというふうに思ひますし、J Cならではの友情の育み方、世界のJ Cにふれる絶好の機会でありまして、いけないメンバーにも是非いったメンバーは伝える、そういった準備をもってハワイのほうに行きたいと思ひます。

結びとなりますけれども、これは例会でも少し挨拶をさせていただきましたが、2014年度も3月になりました。今日で95日目になるのです。残りは270日しかありません。我われの今年の運動は市民がしつかり主役になる、そんな街をめざしている訳であります。そのためにはどの事業もかかすことはできません。そしてどの会議、委員会の委員会活動、事業もかかすことはできない訳であります。そして何よりも我われ一人ひとりが最良の宇都

宮市民になることの自覚をもって行動することが、そんな市民が主役になる街へと導いていくということですので、しっかり皆様方も理事会構成メンバーが自ら模範となるような言動をこれからもしていただきたいと思います。

## 1 1. 直前理事長挨拶

<福田(治)>

年度末このお忙しい時期に第3回理事会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。もう3月、今村上理事長が270日とお話されましたけれども、もう95日たったのか、それともまだ95日、まだ3月なのか。そここの意識を皆さん方には変えていただきたいと思います。3月は、外は花粉の季節、卒業入学、別れと出会いの季節ではありませんけれども、JCにとっての3月というのは、本当に1月2月でスタートをしていって四半期で分けるのではなく3月から4月、5月、6月と成長して行って花を咲かせる時期があります。そして予定者が始まる10月までずっといろんなたくさんの花を咲かせて、10月からはそれが実となり成熟していく時期になります。でなければ2015年の予定者にバトンを渡すことができません。是非ともそういった時期であることを、まず皆さんには強く認識をもっていただきたいと思いますというふうに思う訳であります。今日は山本顧問がいらっしゃいますのであまり長々とお話するのは申し訳ないと思いますが、皆さんには耳が痛いお話を私のこの挨拶の中でさせていただきたいと思います。先日の例会、羽石議長本当にお疲れ様でございました。3月の例会だけではなく1月2月すべてにおいて言えることだと思いますが、まず設営、1月はまだ最初だからしかたないかと思いますが、それでも毎年行っていることですし、2月もだいたい毎年の形は一緒です。そして3月、どの月もその設営に村上理事長は絶対満足されていないでしょうし、僕からしてもいい加減にしてくれという所が多々ありました。それはそれぞれの委員会、会議体がしっかりと振り返ってそうならないように次のメンバーに伝えることが必要です。それぞれの例会の設営は本当に委員会のそれぞれの問題だと思いますので、その部分だけはよろしく願いいたします。どこがということまではいいせんのでよろしく願います。そして3月例会の日はちょうどコンサーレが非常に混雑しており、さらに宇都宮市も三連休前の木曜日ということで非常に混んでいましたので時間どおりなかなか集まれないのは百歩譲ってよしとします。本当はよくはないのですが、あくまで百歩譲ってということですが、そこで委員長の皆さん来た時に定刻の時間に受付にならんでいましたよね。受付の用紙が真っ白な委員会がたくさんあるわけです。委員長すらない、副委員長すらない、そこで委員長がきて会場に入り席に着く、僕はそれをみていて納得がいかない部分があり、結構きつく委員長の皆さんに指示をしたかと思いますが、外からの同志の方々をお呼びして我われが経験していないことをお話していただく。彼らは謝礼などいらないという人たちです。しかも村上理事長、山本顧問、徳原先輩等いろいろな先輩たちが外で共に戦ってきた仲間であります。その3人の方々が揃って宇都宮市にこられるという例会がどういったことなのか。事務方では常任二人が事務局で何かやっていて全然これませんでしたね。総会でもそういったことをするのでしょうか。君たちがいなければ専務は強く他の委員長たちに指示できません。他の委員長の皆さんも会場にきてお客さんのように座っているので、僕はいい加減にしろと、メンバー全員に電話しろと、状況確認をして把握して、これない人にもきてもらえるよう電話をかけるよう指示をしました。御三方は名古屋、北九州、小田原からきていただいている、宇都宮は多分規模的にその3つLOMの真ん中くらいのLOMであります。ならばせめて百人位いるなかで開会しないと理事長の顔がたたないですし、本当にこれで全国大会をとろうと思っているのかこのLOMは、と思われれます。そういった所を皆さんが認識していないことに非常に危惧を感じましたし、皆さんこの羽石議長の議案いろいろありましたけれども最後に手を挙げました。委員長、副委員長はもちろん、この理事会の構成メンバーは例会にお客さん気分できてもらっては困るのです。それならこないほうがいいです。士気がさがります。そこももう少し理解して欲しいです。審議で手を挙げて賛成した以上はその例会を成功させる責任がここにいる全員にはあると

いうことをもう少し認識していただきたいです。お客さん気分ですからであればそれはビジターさんですよ。いかにその例会のときに自分の委員会メンバーたちがどれだけきてくれるかということにももの凄く気持ちを注がないといけません。それで皆と一緒にその時間を共有していくこと。本当に3月の例会は、いる、いないで今後全然ちがいます。そういう機会を村上理事長は、本当は3月、市民が主役の街をつくっていくために、3月にすぐ直接市民に発信する例会をいれてもいい時期なのです。それを未来のためにそれを後回しにして3月にいれているのです。是非ともそこをしっかりと理解していただきたいですし、JCというのは表面的だけではなく側面、裏側いろいろあるものです。そこを考えられる機会があるのがこの理事会の構成メンバーだと思いますので、是非ともそこをしっかりと理解した上で進めていただきたいです。これはただ例会がよくないということだけでいっているわけではないです。今まで例会3回とも出席率60%代です。最終的に理事長は御自分の責任だということかもしれませんが、これは理事会構成メンバーの責任、もちろん私の責任でもあると思います。直接的にアプローチできるのは皆さんですので次の例会は70%台にもっていけるように今日はお話させていただけたことがすこしでも皆さんの血と肉となっただけであれば幸いです。

ちょっと言い方がきつい部分があったかもしれませんが設営、動員、そして例会に臨む気持ち、これはここに座っているメンバーは144名の中の30名ですからそこをもう少し強く認識をしていただきですし、その30名というのは関東の中で3番目のLOMの中の30名であります。そして今年は山本顧問、関東地区協議会の会長を輩出しているLOMであります。是非ともそこまでしっかりと認識していただいた上で、例会というものの重みというものを皆さんたちにはしっかりと認識し、そして委員会メンバーに伝えていただきたい。その伝え方はそれぞれあると思います。そうゆうことでございますので村上理事長の言葉をかりてしめさせていただきたいと思えます。我われが宇都宮そのものである。ありがとうございました。

#### 第46代理事長挨拶

<山本>

久しぶりに理事会に参加させていただきました。本当に多くの皆様が集まって緊張感をもって理事会をやっているのだなと思えますとともに、何人か欠けていますことが、どうしてこうなっているのかということもきちんと考えていただけたらなと思えます。理事長も直前理事長もそんなに厳しいことなんかいいはずがないのです。それだけ皆さんにやってもらっていますから、委員会で委員会メンバーの皆さんにどれだけがんばってもらっているか、委員長がどれだけやってくれているか重々わかっているお二方でございます。なぜなら議長、委員長を経験しているから、常任を経験しているから、副理事長を経験しているから、この時期に委員長たちがどんな苦勞をしているか一番わかっている所でございます。ましてや直前理事長におきましては48年組同級のメンバーはご卒業されております。そんな中で厳しい事なんかいいはずないじゃないですか、それがなんでこのような事を言われているのかということなんです。違います。言わせてしまっているのです。僕らがこれをしっかりと肝に命じてまいりましょう。委員長、議長の皆さんさっきの直前の言葉、理事長の言葉がありましたけれども、委員会でどのようなご挨拶をしていますか。先ほど理事長がお話したようなこと、理事会の構成メンバーは理事として委員会メンバーにキチンとお伝えできていますか。委員長挨拶、笑顔で今日もがんばりましょう、そんなことで終わりにしていませんか。直前がいったように厳しいことを理事としていえるような委員長をやっていますか。毎回毎回そうじゃなくてもいいと思います。たまに、委員長挨拶が5分あるのであれば30秒でもいいかもしれません、このような姿を議長、委員長の皆さんみせてください。それがあなたたちの役目でございます。必ずそれがLOMの力になるわけでございます。是非とも議長、委員長の皆さんあなたたちが肝でございます。2014年度のLOMの方針は村上理事長がしっかりと示してくださっております。であるならば事業を構築する、村上理事長の姿をきちんと

事業として宇都宮市に発信するのは議長、委員長あなた方です。その姿というのは事業の一つひとつではないです。委員会メンバーの笑顔じゃないですか、委員会メンバーの出席率じゃないですか、それが宇都宮を最良の市民の街、大好きな宇都宮にかえるその最善の策だと思いますので、議長、委員長の皆様、委員会の出席率、委員会の盛り上がりこれに注意をしてください。そして例会がどのようになっているか、ここに最大の力を注ぎ込んでください。理事会構成メンバーとして、これが私からのお願いでございます。結びとなりますが、2月はJ C的には2月議案、様々なものをみつまめ、3月は賛同をえる時期でございます。この賛同をえるのはだれに賛同をえるのか。市民だけではございません。メンバーもそうでございます。委員会のメンバーもでございます。しっかりと賛同をえる。またこの3月ももう少し時間があります。まだできることありますから、最後の最後まで賛同をえて4月、直前の言葉をお借りすれば、花を咲かせるための委員会運営をしていただけたらと思いますのでよろしく申し上げます。

## 1 2. 役員報告

- <飯沼> 事務局レイアウト変更を行いました。備品等不明な点ございましたら総務委員会までご連絡ください。  
J Cハンドブック内容をPDFデータとして宇都宮J C H Pのメンバーページにデータでアップしてあります。  
理事の皆様、議案作成される際の議案フォームは直近アジェンダの議案上程フォームをご使用ください。
- <中島(崇)> 1点補足です。ハンドブックデータは個人情報になりますのでプリントアウトの際は慎重な取り扱いをお願いいたします。
- <中島(晴)> 2月27日開催の2月例会市長を囲む会の御礼
- <小瀧> 日本J C全国大会運営会議出向者報告  
3月29日 広島にて全国大会運営会議 第5小会議対話集会開催
- <八木> 3月11日 会員拡大会議公開委員会の御礼  
4月17日 会員拡大会議公開委員会のビジター紹介のお願い  
2月27日 2月例会へビジター紹介の御礼
- <新妻> 関東地区大会フォーラムおよび懇親会参加へのお願い  
A S P A C山形大会登録へのご案内
- <篠崎(達)> 4月26日 関東地区フォーラムへの登録のお願い

## 1 3. 審議事項

審-01 1月例会 新春交流会開催報告並びに決算(案)承認の件

審議資料に基づき、新妻委員長より上程文の読み上げ。

- <村上> 事務局長補足ございますか。

- <橋本> 特段ございません。
- <村上> 廣田議長コメントをお願いします。
- <廣田> 特段ございません。
- <村上> 飯沼委員長コメントをお願いします。
- <飯沼> 議案名開催報告並びに決算（案）の件と記載願います。  
ファイル名の末尾を大文字のSに変更してください。
- <高松> 交流できなかった市民というのは誰のことを指すのですか。
- <新妻> 来賓の方です。J Cメンバー以外の方という意味で市民としました。
- <高松> 途中で帰られたシニア・来賓が多かったと思います。その原因を精査すべきだと思います。
- <新妻> 報告に反映いたします。
- <村上> 幅広く来た人と名詞交換すべきだったということですか。
- <新妻> はい。そのために事前に来賓のリストを作成、メンバーに渡すべきだったと考えます。
- <村上> 途中で帰られた方への対応はどうしますか。議案への記載を明確にしてください。
- <新妻> 運営上の問題点として途中退席の件明記いたします。  
引継ぎ事項として、途中退席者への対応を明記いたします。

**【採決】 全会一致 審議可決**

審-02 第109回通常総会 開催報告並びに決算（案）承認の件

審議資料に基づき、飯沼委員長より上程文の読み上げ。

- <村上> 事務局長補足ございますか。
- <橋本> 特段ございません。
- <村上> 廣田議長コメントをお願いします。
- <廣田> 特段ございません。
- <村上> 事務局長フォーマット上ございますか。

<橋本> 特段ございません。

【採決】 全会一致 審議可決

審-03 PR事業（広告媒体）計画並びに予算（案）承認の件

審議資料に基づき、豊崎委員長より上程文の読み上げ。

<村上> 事務局長補足ございますか。

<橋本> 特段ございません。

<村上> 廣田議長コメントをお願いします。

<廣田> 特段ございません。

<村上> 飯沼委員長フォーマット上でなにかございますか。

<飯沼> 審議事項ですので予算（案）承認の件に訂正願います  
事業名から計画以降の文言を削除してください。

<福田(治)> LOMのブランディングについて説明願います。

<豊崎> 団体の価値を高めるということで、市民の皆さんに協働を促し推進すると考えます。

<福田(治)> ブランディングとしてリビングマロニエを選定した理由を説明ください。

<豊崎> リビングマロニエは各家庭配布のフリーペーパーですので地域により広まるという意味で選定させていただきました。

<村上> 市民目線で情報発信できるように各委員会と連携をお願いします。

【採決】 全会一致 審議可決

審-04 4月例会 法令会計事業 開催計画並びに予算（案）承認の件

審議資料に基づき、渡邊副議長より上程文の読み上げ。

<村上> 廣田議長補足、コメントをお願いします。

<廣田> 特段ございません。

<村上> 飯沼委員長フォーマット上でなにかございますか。

<飯沼> 特段ございません。



<村上> 新妻委員長、動員についてアドバイスされたそうですがどのようなアドバイスをされましたか。

<新妻> 積極的かつ効果的なタイミングでの電話掛けをアドバイスさせていただきました。

<村上> 飯沼委員長もアドバイスされたそうですがどのようなものですか

<飯沼> 開催前日の電話掛け、参加人数の把握と精度をあげること、直前に個人のメンバー事情による欠席もありうることをアドバイスさせていただきました。

**【採決】** 全会一致 審議可決

審-05 5月例会 第33回わんぱく相撲うつのみや場所開催計画並びに予算(案)承認の件

審議資料に基づき、相馬委員長より上程文の読み上げ。

<村上> 林常任補足ございますか。

<林> 特段ございません。

<村上> 廣田議長コメントをお願いします。

<廣田> 特段ございません。

<村上> 飯沼委員長フォーマット上何かございますか。

<飯沼> 特段ございません。

**【採決】** 全会一致 審議可決

審-06 役員選挙管理委員会設置(案)承認の件

審議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

<村上> 朝田副理事長ございますか。

<朝田> 特段ございません。

<村上> 廣田議長コメントをお願いします。

<廣田> 通信費切手代が4月より82円になりますのでご注意ください。

<村上> 飯沼委員長フォーマット上何かございますか。

<飯沼> 特段ございません。

<羽石> 投票権を持つメンバーが全員投票できる仕組みを話し合っただけだと思います。

**【採決】** 全会一致 審議可決

審-07 3月新入会員認証（案）承認の件

審議資料に基づき、八木副議長より上程文の読み上げ。

<村上> 木村副理事長補足ございますか。

<木村> 特段ございません。

<村上> 廣田議長コメントお願いします。

<廣田> 特段ございません。

<村上> 飯沼委員長フォーマット上何かございますか。

<飯沼> 特段ございません。

**【採決】** 全会一致 審議可決

#### 14. 協議事項

協-01 PR事業（映像制作）計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、豊崎委員長より上程文の読み上げ。

<中島(晴)> 映像IRODORI WORKSさんのコンテでJC運度映像を作成されるのでしょうか。

<豊崎> はい。そのようになっております。

<中島(崇)> サンプルで3社つくった過去の映像を比較した上での選定となっております。映像に関しましてはWEB上で閲覧可能ですのでご参考にしてください。

<岡田> スクリーンのない場所での事業、例会ではどのような対応を考えておられますか。

- <豊崎> スクリーンのないところでは事務局よりスクリーンを持ち込む予定です。スクリーンがあるところでは開催委員会と協議させていただきます。
- <渡邊> 映像の納期は映像の完成品の納期ということですか
- <豊崎> はい、そうです。
- <渡邊> 製作完成品はいつごろみられますか。
- <豊崎> 4月常任理事会にて公開予定です。
- <宮林> 各事業、例会場所での音響はどうなっていますか。
- <豊崎> スピーカーでパソコンより音声を出したいと思います。
- <村上> ここまでご苦勞があったと思いますが、よりよくなっていると思います。業者さんとのコミュニケーションをとりよりよくしてください。

協一〇二 6月事業 全国大会招致関連事業 開催計画並びに予算（案）について

羽石議長より上程取り下げの申し入れ

協一〇三 6月事業 全国大会招致関連事業 告知計画並びに予算（案）について

羽石議長より上程取り下げの申し入れ

協一〇四 3月新入会員認証（案）について

協議資料に基づき、八木副議長より上程文の読み上げ。

- <八木> 入会申込書におきまして推薦者が入会2年未満の方が2名いましたので修正いたします。
- <中島(崇)> 福田直前理事長も推薦者になれませんので修正お願いします。
- <村上> 今月これで5名の入会が上がってきたわけですが、書類の不備は修正すればいいといたしまして、きてくれたビジターとどれだけメンバーがコミュニケーションをとれるかが入会の鍵になると思いますので、理事メンバーのご協力をよろしくお願い致します。
- <八木> 特段問題ないようでしたら、審議格上げの動議をお願いいたします。
- <中島(崇)> 審議格上げの道議がございました。セコンドされる理事の方、右手挙手をお願い致します。

セコンド：羽石議長、相馬委員長

全会一致審議格上げ 審議事項 7 番項

協－05 役員選挙管理委員会設置（案）について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

- <橋本> 委員会メンバーにおいて年会費未払いの方が2名いらっしゃいます。各委員会で3月末日までのメンバーへの入金をよろしくお伝えください。
- <中島(崇)> 選挙権、被選挙権ですが山本顧問がご卒業ですので訂正お願いします。規定上、村上理事長の被選挙権もごございますので訂正お願い致します。
- <村上> 規則どおり粛々と進めてください。お願いいたします。
- <橋本> 特段問題ないようでしたら、審議格上げの動議をお願いいたします。
- <中島(崇)> 審議格上げの道議がございました。セコンドされる理事の方、右手挙手をお願いします。

セコンド：新妻委員長、鈴木委員長

全会一致審議格上げ 審議事項 6 番項

15. 報告事項

報-01 メディア掲載報告について

- <中島(崇)> 下野新聞におきまして、新春交流例会および3月2日宇都宮JC紹介記事が掲載されました。

報-02 対外出向者について

- <中島(崇)> ご一読ください。

報-03 年間公式スケジュールについて

- <中島(崇)> ご一読ください。

報-04 2014年度カレンダーについて

- <中島(崇)> ご一読ください。

#### 報-05 会費納入状況について

<中島(崇)> 年会費の入金ですが、3月31日が選挙権の上での規定となっておりますが、入金締め切りそのものは1月31日であります。リストにて黄色で表記されておりますメンバーに関しましては議長、委員長より声掛けをよろしく願いいたします。

#### 報-06 特別会員入金状況について

<中島(崇)> ご一読ください。

#### 報-07 ビジター報告

<中島(崇)> ご一読ください。

#### 報-08 ビジター名簿

<中島(崇)> ご一読ください。

#### 報-09 次回開催について

4月23日(水) 19:00～ コンセーレ バンケットホールにて開催。

#### 16. 監事講評

<飯野>

まずは総務委員会の皆様は本日も早い時間から理事会の設営をありがとうございます。本日福田直前理事長、山本顧問からもご意見いろいろございました。わたしからもやはりこの皆さんに理事になられていることの意味をしっかりともう一度とらえていただきたいと思います。この宇都宮J.Cの事業、理想をいけば正会員皆があつまってどういう事業をやるのか話し合えば、もちろんそれはそれで理想形ではありますけれども、この人数になってくるとなかなかそうもいかない。そうするとやはり理事という方を選挙で選んで、あるいは理事長からの指名によって理事を選んでその中で少ない人数でしっかりと事業を計画し、成し遂げ、その事業を検証していきましょうという位置づけになってくるのだと思います。そして皆様にはここにいる全員、当選または理事長からのご指名をいただいて理事になられています。これは断ることもできたわけです。それをやはりしっかりと受けとめて就任承諾書も署名を記載されていると思います。その理事の職をうけた以上は、その責務をしっかりと果たしていただきたいと思います。

本日審議事項、協議事項数多くございました。審議案件ではございますけれども、流れお聞きしていると、中島専務からご指名がなければ多分なにも意見なくとおっていったのではないかという議案も多くみうけられます。正直申し上げてこの議案書の内容は100%かかっているのでしょうか。100%なんの意見もでないような完璧な議案書な訳ではなくて、おそらく何がしかいいたいこと、ちょっと意見したいことはあると思います。そして今回残念ながら議案の取り下げという案件を発生させてしまいました。当然羽石議長は例会

を抱えながらの議案の作成、非常に大変な時期であったと思います。それを思いますと私も前回の常任や正副、残念ながら出席できなかったのですけれども、正直申し上げて今回の議案を拝見させていただきました。この前正副、常任があったはずなのですが、そこでどういう議論がかわされてこの流れになったのかちょっと私にはみえないのですが、その前段の部分でももう少しやり方があったのではないかと、議論がつくせたのではないかと思いますので、正副、常任理事の皆様にももう一度しっかりとそれぞれの会の意味を考えていただいて、是非次回素晴らしい議案になってまたこちらの理事会に上程していただきたいなと思います。

またお願いばかりで恐縮ですが、今日とちぎテレビの撮影が前段で予定されておりまして、事情により中止となりましたが、新春例会の議案の問題点でもメンバーの方で服装が乱れている方がいたとかそういったお話も問題として上がってきておりました。今日この場で皆さんもしっかりとした服装できていらっしゃると思います。宇都宮JC、人数もどんどん増えてきております。今日も5人の新しいメンバーの認証が決まりました。だんだん人数が増えてくるとなかなか目が行き届かなくなっていく、細かい立ち振る舞いや不適切な部分が増えてきたりというのはあると思います。これから先どんどん公益事業がはいってきます。そういった対外的な方がいらっしゃる場面もどんどん増えてきますので、そういった細かいところ、メンバー個人の細かいところまで気配りできるのが議長、委員長の皆様です。そういったメンバーの立ち振る舞い、服装等々なにかあれば議長委員長から注意をして、本当に外部からみてさすが宇都宮JC素晴らしい団体だといっていただけのようにしていただけたらと思います。また最近他の団体でちょっと問題があったのですけれども、よくフェイスブックでその団体の集まりのあとの懇親会、飲み会が写真でアップされていたりとかそういったものがあります。私もそんなに頻繁にみているわけではありませんが、皆さんのフェイスブックを拝見させていただいて、本当に委員会のあと楽しそうに飲んでいるのをみます。私などは非常にうらやましいなと思いつつ拝見しておりますが、宇都宮JCは青年経済人の集まりです。大丈夫だとは思いますが、飲んだ勢いでつい載せづらい写真がアップされてしまったり不適切な外部にみせるべきではないものがアップされてしまったりすることが他の国であるということをお聞きしたことがありますのでそのあたり、監視しろということではなく、万が一そんなことがございましたら議長、委員長の皆様から注意をしていただくよう、正副、常任では目が届きづらいところがございますので、お願い致します。

結びとなりますが冒頭、残り270日、まだなのかもうなのかというお話でございましたが、今日が3回目の理事会、予定者で4回、通常で2回の理事会を行っておりますので内容は十分わかっていると思いますので、活発なご意見を次回以降の理事会でお願いいたします。私はまだまだ270日あると思います。まだまだ素晴らしい議案がこのメンバーであれば構築していくことが可能であると思いますので、今日までは今日までとして次回以降素晴らしい理事会をつくりあげていただければと思います。

## 17. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2014年度 第3回 理事会議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成：総務委員会

議事録署名人：村上 正高  
黒川 崇  
飯野 貴道

澤畑 敦史